

いち魂

第3号

2007年2月14日

発行 2007青年自治研集会実行委員会

〒112-0012 東京都文京区大塚 4-10-7

(日本自治体労働組合連合内)

電話：03-5978-3580

fax：03-5978-3588

特集 広原盛明さん (龍谷大学教授)

青年自治研記念講演講師の広原さん

「未来を拓く気概と能力持った人に」

二月一日、鳥越委員長、小倉事務局長に加えて編集部計四名で青年自治研の記念講演を依頼している龍谷大学法学部教授広原盛明さんとの打ち合わせを行いました。広原さんは大人数での訪問に驚かれつつも温かく私たちの希望を聞いてくださいました。



●「何でも言ってくださいよ」

指定されたホテルのロビーは観光客であふれかえっていました。「先生が分かるだろうか・・・」一瞬不安になる一同。広原さんはそんな我々の後ろにひよつこりと、(失礼!)でもきっかり時間通りにお越しになりました。思ったより大柄なロマンズグレーの紳士。気さくな口ぶりで優しく話してくださいいます。

「何を話そうかな」「希望をどんどん言ってください」とおっしゃる広原さんに実行委員会側からはこの集会の目的、自治体職員の現在置かれていた状況や課題について提案を行いました。



広原盛明(ひろはら・もりあき) 一級建築士、工学博士、技術士(建設部門・都市及び地方計画) 二〇〇五年四月から現職。

学者としての研究テーマは専ら「まちづくり」、モットーは「住民とともに」。すまい、交通、コミュニティ、環境、景観、福祉、商店街など、およそまちづくりに関係するテーマは総なめする。(HPより)

広原 講演の時間が二時間もあるから、それなりのものを出さなくちゃね(笑)今の情勢をどう読み込むか、それにフィットしたものをい出さなくてはね。今、地方自治体は本当に金がないから政策意欲をなくしてしまいうのも無理はないと思います。行政は追い込まれているけれど、現在の矛盾はどんどん広がっていつて必ずほころびが出ますから、そのチャンスをどうつかむか、今の状況をはね返す希望が

どこにあるのかについてお話ししたいと思っています。 **実行委員会** 先生から見ると今の自治体職員はどう見えますか。 **広原** 政策能力が弱いなど思います。(裏へ続く)

青年自治研集会

今語ろう、私たちの仕事と住民の暮らし

3月3日(土)4日(日)

京都市内にて開催

詳細・申し込みは
組合事務所まで!

地域や他のセクションとの総合的見地が必要です。本当は人事がそうやって育てていくんでしようが、そんな教育を受けられるのは一部の人たちだけです。自己努力でこれをやらなくちゃならない。組合の役割もそこにあると思うんです。組合が人材をどう育てるかにふみこんでいきなさい。

実行委員会 経験が大切というお話が学生を育てるお話の中にもありました。

広原 制度だけで仕事は出来ません。ケーススタディが大切で、その中でノウハウを身に付けていくものです。いい仕事をする人には必ず人が集まります。若い皆さんには未来を拓く気概と能力を持った人になってほしいですね。かつては住民と結んだ公務の形がありました。住民とのパートナーシップの再編がなければこれからの公務はもちません。地域が減びます。

実行委員会 実践者として今までずっと様々な運動に関わってこられた広原さんの信念を感じました。当日も楽しみます。ありがとうございました。

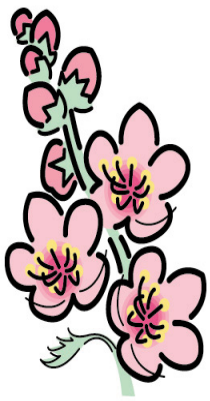
リレーメッセージ第三回 青年自治研への期待

愛知県本部執行委員長

羽根 克明

青年を主体とした全国規模の地方自治研究集会の開催は、自治労連を結成後はもちろんのこと、自治労時代を振り返ってみても記憶にあります。おそらく始めてのことでしょう。それだけにこの集いを、是非成功させたいものだと思えます。これまで、平和をテーマとした青年の取り組みは、全国各地で前進してきました。しかし今度は、自治体労働者として、住民のために仕事と職場を改善しようとする、その意気込みに頼もしさを感じます。

先頃行われた愛知県知事選挙では、自治労連も参加する「革新県政の会」の阿部精六さんは、残念ながら敗れました。阿部さんに投票した方の年代別支持率をみ



てみると、二〇歳代と五〇歳代が高い。五〇歳代は、活動家も多いので分かります。二〇歳代がなぜ多いか、やはり青年は正義感が強く、

政策をみて判断しているからだと思います。そこに青年の大きな可能性が伺えます。あとは、この若いみなさんを労働組合がどう引きつけるかだと思います。

愛知県本部は、現在一五名の参加を確認していますが、目標の二〇人突破にむけて、引き続きがんばります。

★この集いが青年層の取り組みとして全く新しいものであるというところに身の引き締まる思いです。ありがとうございました。

第四号予告

▼第五回実行委員会開催！本番へカウントダウン▼ついに交流会企画発表！実行委員の企みとは▼リレーメッセージ（岩手）▼連載いいんちよのつぶやき他 お楽しみに！

いいんちよのつぶやき

「遊ぶ」と言えば、食べ歩き。京都と言えは、なせだか自分は、茶寮都路里のパフェなのです。京都に行くたびに女性が多く並んでいる長い列にちよこんと並び、周りからの視線を感じながらパフェを食べるのが好きなのです。ホントに美味しいですよ。お奨めは、月ごとに替わる限定セットです。まあ、限定という響きに弱いのですが・・・。後は、「都路里パフェ」です。すかね。それと、もう一件は、八坂神社近くにある壱銭洋食の「お古乃美焼」。半熟卵に牛・ねぎ・コンニャクそして、辛いソース。思い出ただけでも、お腹が空いてきた。全く京都らしくないといわれるかもしれませんが、この2つ外せませんね。あと、京都の町並みを見ながらぶらぶら歩くのが好きです。京都駅から京都御所まで寄り道しながら歩くのが楽しく楽しくて。細い路地中に、感じのいいお店がいっぱいあるのが京都なんですよね。歩いていると色んな発見ができますよ。散策好きの自分にはたまらない町です。この冬の一押しは・・・